

科目名		授業形態	担当教員名	
リハビリテーション医学		講義	鮫島 一雄	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
リハビリテーション医学の対象は、障害を持つ人及び障害を生じる可能性のある人々である。そのような対象者に共通する医学的事項について知り、理解できるようになることを目的とする。				
授業の到達目標				
・臨床医学とリハ医学の違いを説明できる ・運動発達検査を説明できる ・患者の体に入入りしている管について列挙できる リスク管理の必要性を認識する ・痙性麻痺治療について説明できる ・浮腫、熱傷の評価と理学療法について述べるができる ・ポストポリオ症候群を説明できる				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション 臨床医学とリハ医学の差異			
2	リハ医療の3タイプ 4つの医療機能役割 リハ医学関係略語			
3	療養型施設とは リハ医師のPTへの思い			
4	発達評価総論			
5	発達検査各論 演習1(遠城寺、デンバー、反射)			
6	発達検査各論 演習2(GMFM、GMFCS、その他)			
7	カテーテル総論・各論			
8	リスクマネジメント1:ベッド周辺のコードについて			
9	リスクマネジメント2:リハビリテーションの中止基準、他			
10	痙性麻痺1:(神経生理学的機序、評価、理学療法)			
11	痙性麻痺2:(医師による治療)			
12	末梢循環障害と浮腫			
13	浮腫の理学療法			
14	熱傷の理学療法			
15	ポストポリオ症候群			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
リハビリテーション医学演習資料28期生	担当教員作成分			
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
辞書				
下記教科書 適宜使用				
自由記載	理学療法概論・小児理学療法学・内部障害理学療法学テキスト、理学療法評価学、運動療法学			
備考				